

「世界中はみんな兄弟姉妹、仲良くたすけあおう！」

2023/07

No.162

【フォーエーション】

# Four Action

【Four Action】フォーエーションは、「4つの会 Association Of 4」の造語です。

埼玉教区青年会年祭活動

## 733万回たすけあい運動

埼玉県民に

親の思いを...

立教186年  
4月1日

～

立教189年  
1月26日



集まる埼玉！ 動く埼玉！  
みんなの埼玉！ チャレンジ埼玉！

# 172311 実動

立教 186 年 6 月 26 日時点

### 立教186年子どもおちばがえり 埼玉教区団少ひ隊本部練成会お知らせ

☆事前研修会☆

第1回事前研修会 7月14日(金)午後8時～15日(日)午前8時

第2回事前研修会 7月21日(金)午後8時～22日(日)午前8時

※詳しい詳細・申込書は5月3日教区例会にて各支部に配布済

☆日程☆

7月28日(金)午後8時教務支庁集合

29日(土)午前7時出発 午後4時入隊

◆期間中のプログラムは事前研修会にて配布◆

8月 1日(火)午前9時解隊 その後USJ 午後10時帰郷

2日(水)午前6時教務支庁到着 午前9時解散

☆参加お供☆

隊員 15,000円 (USJ不参加の方は5000円返金)

カウンセラー 5,000円

※USJにて昼食はお弁当配布・夕食代として2000円を渡します。

★今年も笛の習得を目指します。

### 少ひ隊事後研修会お知らせ

事後育成の為に事後研修会サマーキャンプを下記の通り開催します。

期間 8月17日(木)～20日(日)

集合 8月17日 午後6時30分 埼玉教務支庁

到着 20日 午後3時 埼玉教務支庁

場所 千葉県鴨川市太海 立野堀大教会 鴨川キャンプ場

費用 隊員3000円

内容 海水浴をしますが、今年も夜は勉強会をします。中3の方は受験対策も丹精します。(3年生は夏休みの宿題を終わらせてきて下さい。受験勉強をします。尚、終わってない場合は、終るまで海はありません)

参加申込み 8月15日までに団長まで



★問い合わせは団長まで090-7283-3288



みなさんこんにちは！  
新生学生会スタッフになり、早1ヶ月が経ちました。  
わからないことだらけの中、少しでも多くの学生に参加して  
もらうため楽しい企画を準備しています！



## 8月半ばにBBQを開催します！

日にちなど詳細が決まりましたらまたお知らせします！

### ～ 去年の写真たち～



先日、関東の委員長と顔合わせと話し合いを  
行いました。

他の学生会の取り組みや悩みを共有し、  
刺激を受けることができました！

学生会を通して仲間ができ、天理教をもっと  
好きになったり  
信仰していてよかったと思えるような学生会  
にしていきたいと思っています！



### 巻頭言

皆さんこんにちは。最近、じめじめした暑さが続き、梅雨の蒸し暑さを感じるようになりましたが、心は爽やかに澄まして過ごしていきたいですね。

私は 6 月 10、11 日におぢばで行われた女子青年委員長講習会に立野堀支部から参加させて頂きました。私は一人で天理へ行ったことも一人で詰所に宿泊した経験もないため不安だったのですが、埼玉教区から参加していた富樫実紅ちゃん和泉萌恵ちゃんと一緒に郡山詰所に宿泊させて頂いたので、何の心配もなく安心して埼玉まで無事に帰ってくる事が出来て有難かったです！

私は講習会の講話でお話頂いた女性の言葉遣いについて考えさせて頂きました。女性は一に愛想「女はな、一に愛想」と言うてな、何事にも、はいと言うて、明るい返事をするのが、第一やで。(略) (稿本天理教教祖伝逸話篇一一二)と聞かせて頂くように、はいと明るい返事をするのが第一であり、不足心で言葉にするのではなく、笑顔で温かい優しい言葉を使って、仲良く助け合って陽気ぐらしが出来るような言葉の使い方をしていきたいと思いました。また、女房の口一つ「亭主の偉くなるのも、阿呆になるのも、女房の口一つやで。(略) (稿本天理教教祖伝逸話篇三二)とお教え下さったように、女性にとって言葉一つが肝心であり、心温かい優しい言葉で、周りまでも陽気に変える力があることを、教えて頂きました。世の中では冷たい言葉を耳にしたり、ネット上で目にしたりすることが多々あると思います。そんな時でもその場の雰囲気や人の心を言葉で陽気に変えることができるような芯の強い女性になりたいと思います。

星野菜子

### 巻頭言

日中の暑さが厳しくなり、冷たいものが欲しくなる季節になりました。夏といえば、かき氷！プール！キャンプ！花火！こどもおぢばがえり！！楽しみがいっぱいです。私は子どもの頃からそんな夏が今でもずっと大好きです。そんな変わらず好きなものとは反対に、『子どもの頃から変わったもの』についてふと考えることがあります。子どもの頃は食べられないものがあつたけど、今は食べ物の好き嫌いが無い。子どもの頃は、人前でも物怖じせずいられたのに、今は人前で話すとき、声が震えてしまったり、小さくなってしまおう。など考えてみると変わったことがたくさん見つけられました。その中には、良い方向に変わったことと、良くない方向に変わったことがあると気づきました。

また、子どもと接していると、今の私にはないものを子どもはたくさん持っていると感じることがあります。年齢や性別関係なく、知らない子どももすぐ仲良くなったり、外に出ただけで楽しそうに笑顔で走り回ったり、色々なものをみて、聞いて、たくさん質問してきたり、子どもってすごいんです。癒しや元気をくれて、明るいパワーが溢れています。そんなふうにも、今と子どもの頃の自分を比べたり、子どもと接する中で、自分を顧みることがありました。

おさしづに『この道のうちは、こうなってもどうなってもこれ三才の子供ということろになつてくれにやならん』とあります。

「三才心(さんさいごころ)」とは、子どもの心、童心のことで、欲や案じ心などを無くし、無心で陽気に遊ぶ子どものような心になるように、という意味だと教えていただきました。色々な経験をすると、さまざまな思いをめぐらし、先案じをしたり、過去を後悔したりして、一日一日を没入して、楽しみながら過ごすことが難しくなります。おさしづにあるように、子どもの心づかいを手本に、清らかで明るい心になるよう、どんなことにも素直に「はい」と返事をして通ることが大切であると、改めて考えさせられました。

私は百四十年祭に向けての三年千日、子どものように、素直な心で、日々を明るく、楽しんで通りたいと思っています。そのために、まずは何事にも「はい」という素直な返事をする、清らかな心を持つことを意識していきたいです。

西妻 麗



# 活動報告

## 立教 186 年 女子青年委員長講習会

先月6月10日、11日に天理教本部にて女子青年委員長講習会が行われました。全国の支部、教区の女子青年委員長または委員が集まり女子青年としてのお道の通り方を勉強させていただきました。埼玉教区からは2名参加させていただきました。婦人会長様ご挨拶にはじめ女子青年活動について様々なお話をしてくださいました。

婦人会長様ご挨拶では神一条の精神について私たち女子青年にわかりやすくお話しくださいました。

神一条の精神と聞くと神様一筋でなければならぬととても難しく考えてしまいますが、婦人会長様はそうではなく、私たち女子青年にできる神一条の精神とは「人間思案を捨て切り親神様に添いきる。教えを素直に実行し通らせていただくことである。」とお聞かせくださいました。

「ふしにはその日その時のタイミングで必要な大切なことを親神様が見せてくださる。そのふしから親神様からの思召しを考えることが重要である。どんなに辛いふしでも親神様を信じもたれきる。そうしてふしを乗り越えてまた新しいふしがでる。そのふしを通して教祖のお心を学ばせていただくことが私たち女子青年の心の成人につながるのである。」とおっしゃられました。そのためにはまず教祖のひながたを通らせていただくことが大切であるとお聞かせくださいました。「ただ教祖のひながたを通るといことは形をまねるのではなく、教祖のお心を学ばせていただき日々を通していただくことが教祖のひながたを通るといことである。私たちの身体はかしのかりものであり心だけが自分のものです。どうしても辛いふしになればなるほど人間思案が出てくる。その人間思案を捨て「教祖さまだったらこのふしをどう乗り越えていくのだろう。教祖さまだったら親神様の思召しをどう考えるだろう。」と考えることが重要である。考えることで教祖のお心を学び、親神様の思召しに素直な心で受け止め実行することそれが神一条の精神である。」お話ししてくださいました。

女子青年活動については「女子青年活動のかどめ」の大切さを細かくわかりやすくお話ししてくださいました。女子青年活動をしていくことで大切なことは三つのかどめを自分にできる範囲でどんなに小さなことでも実行することであると聞かせくださいました。大きなことを無理にするのではなく小さなことをコツコツとしていくことで自然と良いにをいがつきましたそれを周りにかけていけるのである。素直な心で教えに触れ学びそれらを共有していってほしいとお話ししてくださいました。

グループワークでは聞かせていただいたお話をもとにそれぞれが感じたことを話し合いました。各支部、教区ごとに環境が違うことから自分自身の思いや考え悩みまで様々な意見交換ができました。

今回この講習会では一人で教えを学ぶだけではなく、みんなで学びまたそれを話し合っていくことが大切だと学びました。この学びを自分の中だけでなく他の女子青年の皆さんに教え、共有していき互いに心の成人を目指し、教祖百四十年祭三年千日を通していただきます。



富樫 実紅

今回初めて女子青年委員長講習会に参加させて頂いてきました。私は今年度から初めて女子青年活動に参加し始めていた為、探り探りで活動していました。

講習会では、会長様ご挨拶はじめ、様々な有難いお話を聞かせて頂きました。「神一条の成人を目指していくことが大切であり、一人一人違った成人を心がける」という教えが心に残り、心がけていこうと学びになりました。

また、記念建物では教祖が実際にどのように過ごされていたのかお話を聞きながら見学させて頂き、とても貴重な体験ができました。

グループワークでは教祖 140 年祭に向かう三年千日に自分ができる年祭活動について考え、様々な意見交換をしました。私は、この三年千日では神様へ、人への感謝、素直な心を忘れず日々できることを率先して行い、心明るく通らせて頂きたいと思いました。



和泉 萌恵

## 埼玉教区婦人会総会ひのきしん

5月30日、埼玉教区婦人会総会にてひのきしんをさせていただきます!!

婦人会の先生方にお配りするお弁当の袋詰めひのきしんから珈琲ショップのお手伝いをさせていただきました ●♡



### ♡お知らせ♡

9月23日(土)

埼玉教区女子青年の集い

## 青年会巻頭言

今から20年前、私はどんな中も親一条の心でこの道を懸命に歩んでいる両親の姿を見て、物理学の研究を辞め、道一条に切り替えました。しかし、現実には甘くは無く、教会青年としてのつとめも十分に果たせない、にをいがけに出ても全く声が掛からない…、そんな日々を過ごす中に、段々と学者の道を諦めた事への後悔の念が湧いて来て、毎日が喜ばなくなっていました。そんなある日、当時、責任者をさせて頂いていた鼓笛隊の隊員が不登校になり、にをいがけの道中にその子に会いに行くようになりました。隊員の家を覗いてみると思っていたより状況は酷く、昼夜逆転の為、昼間は寝ていて、家に行っても殆ど話す事も出来ない状況でした。あれ程活発だった子が、生きる気力を失っている姿に何とか力になりたくて、片道3時間の道のりを理づくりにと、にをいがけをしながら運んでいました。初めは寝ている彼を起こすところからでしたが、数カ月後には布団から出られるようになり、部屋から一歩、家から一歩と少しずつ動けるようになってきました。そして、河川敷で何も話さず

川面を一日眺めているような日もありませんでしたが、一年程経った頃には教会にも運べるまで御守護頂きました。教会では会長様、奥様はじめ皆さんが彼の事を思い待っていて下さり、久しぶりの彼の参拝を心から喜んで下さいました。奥様は彼の性格を見定めて、未就学児の活動の係員にして下さいました。その御用にやりがいを感じた彼は見違える程元氣になり、アルバイトをしながら、教会日参をするようになり、その後、人の為に心を尽くす教会青年さん達の姿に憧れ、道一条を心定めて下さいました。論達の中に、「人救けたら我が身救かる」とありますが、私自身も、彼と向き合う尊い日々のお陰様で、学者の道を切り替え、この道を歩ませて頂いている事に心から誇りを持てるようにならせて頂きました。あれから十数年経った現在、彼は教会の女子青年さんと結婚をさせて頂き、引きこもっていた時に磨いたパソコン技術を生かし、教会になくはならない青年として大活躍して下さいます。かつて、本芝房分教会初代会長様は私の母に、「おたすけは本当に広い海

のような心にならないといけないんだよなあ」とやさしく包み込むようにお話しして下さいました。教祖百四十年祭三年千日を歩む日々の中で、人と比べては自分の不甲斐なさを感じたり、御守護を急いたりする事ばかりですが、「広い海のような心」を目指して、焦らず、飽きずに一日一日を大切に通らせて頂きたいと思えます。先日、長い間教会から離れていた青年さんが「お話を聞いて下さい」と電話を掛けて来て下さいました。心が一杯々々になっていた彼はひたすら拝殿で泣いていました。この時旬に教祖が引き合わせて下さった彼が、前述の鼓笛隊員のように御守護頂く日を夢見て、にをいがけ・おたすけに邁進させて頂きたいと思えます。

狭山支部青年会委員長 福井英之

## ・青年会活動のお知らせ

# 全支部巡回をさせていただきます!

○ 実施期間：8月7日～23日

○ 活動内容：教区青年会の委員が各支部へ赴き、千動の内容に沿った実動させていただきます。

※詳しくは各支部の青年会委員長まで!





よくをわすれてひのきしん  
これがだい、ちこえとなる

# 越谷市・吉川市社協の要請を受け出動



## 台風2号の影響で浸水被害を受けた 床下の水抜きと片付けひのきしん

令和5年  
6月8日～11日



令和5年6月8日～11日、越谷市と吉川市の社会福祉協議会の要請を受けて、埼玉教区隊は出動させていただきました。参加者のべ86名(4日間)。

作業内容は、床下の基礎部分に溜まった水抜きと、水に濡れてしまった床下断熱材の撤去と掃除です。家屋18軒を綺麗にさせていただきました。

家主さんは被災したことでもとても心を痛め、初めは暗い表情をされ重苦しい空気が漂っていましたが、作業が進むにつれて、色々話をしてくれようになり、終わるころには笑顔が出て、とても喜んでくださいました。「私もボランティアをして、恩返しをしたい」と言ってくださる方もいました。たすけられる側から、たすける方への向きが変わって行く姿に感動し、これはまさしく、災害隊員さんのひのきしんの姿が、家主さんの心に映ったのだと思った瞬間でした。

今回は災害隊以外の一般ボランティアさんも一緒にチームで作業しましたが、最終日を迎え、作業時間が残り僅かとなると、「ひのきしん隊さんともっと一緒に作業がしたいです。なんか寂しいですね。また一緒にやりたいです」と言っておられる方もいました。



床下は狭く、横になった姿勢で  
水を含んだ断熱材を撤去します



天理時報に掲載されました

こちらのQRコードを  
携帯で読み取ってご覧ください

今から10年前、越谷市で発生した竜巻被害を受けた時にも出動したことがあり、また、今期の災害隊の活動目標の一つ「教区内の全ての社会福祉協議会(73社協)との顔合わせ」の行動により、今回は災害ボランティアセンターを立ち上げる前から、越谷市・吉川市の社会福祉協議会より事前に連絡をいただきまして、6月6日に被災された家屋へ社協職員と共に訪問して、被災状況の確認をし、今後の作業スケジュールについての相談させていただきました。

災害隊として培ってきたこれまでの経験が、こうして地域の中の最前線で、お役に立てることのありがたさを感じさせていただきました。

みかぐらうたに、  
よくをわすれてひのきしん  
これがだい、ちこえとなる

(十一下り目四ッ)

とありますが、「ひのきしん」を通して、たすけ合いの輪が広まり、よい「にほひ」となって喜びが伝わっていったらいいなと思うのと同時に、埼玉教区災害隊の皆様の真実を強く感じました。ありがとうございました。



台所の床下収納からポンプで水抜き作業



濡れた断熱材を袋詰めに